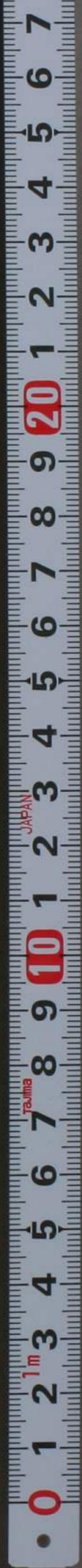


舟道加途志

中

舟道
281
2



木 2
巻



長
野
舟

手

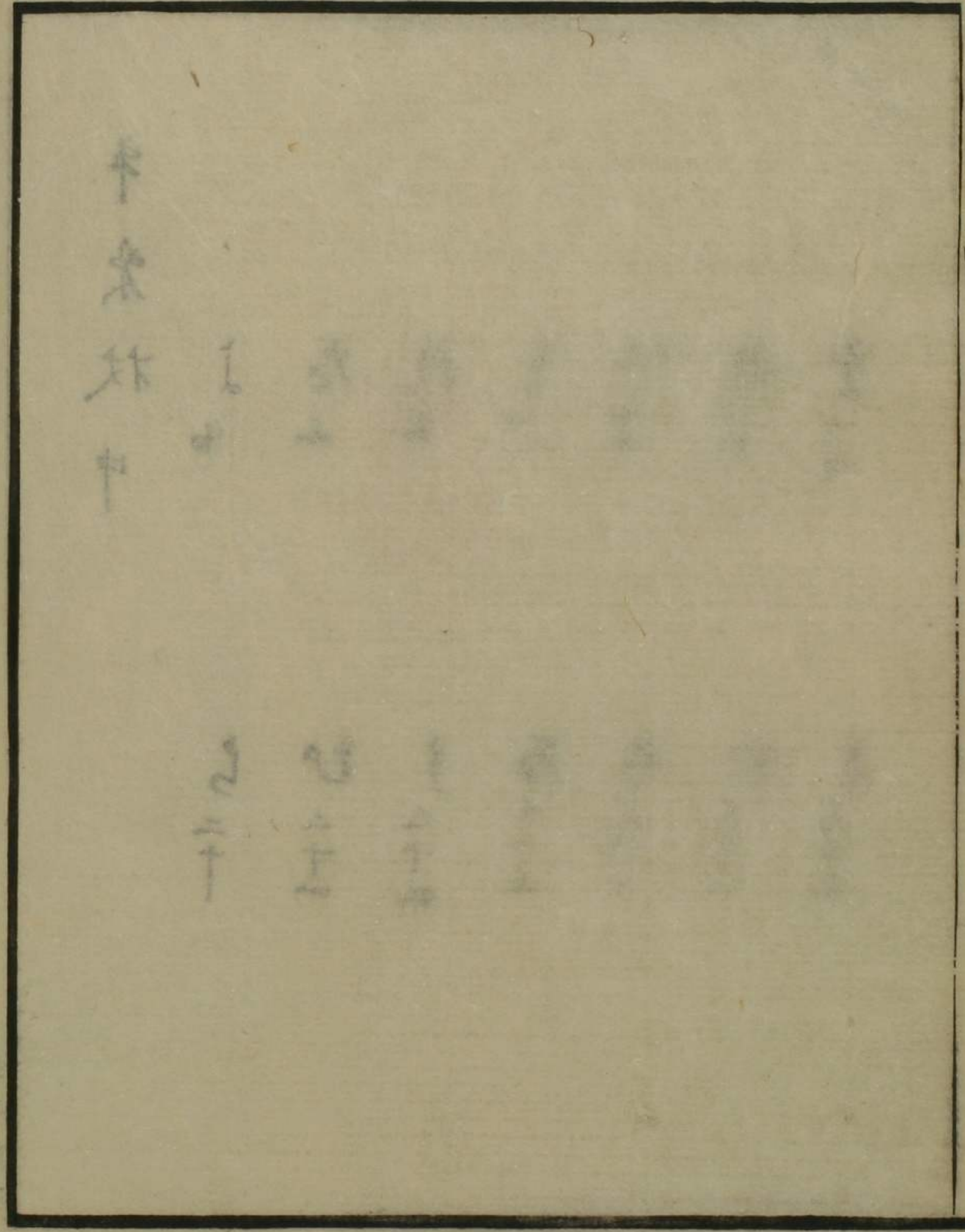
平
木
杖
中

な ね つ そ れ た よ
十七 十六 十三 十 九 三 初

く ね 乃 お う む ら
十四 十二 十一 九 八 七 六



金子莊次



よゝ部

二云

三云

多如可夏清中

よ乃勃 與 容欣譽庸途

二云

⑧ よは 古今 夜 夜をさし ⑨ よら 万と治

攀 ⑩ よひ 万と比 夜、霄 夜をさし

三云

⑪ よろけ 和と居 萬 ⑫ よろふ よろえんよろひ

⑬ よろひ 和と路 ⑭ よろふ よろえんよろひ

⑮ よらふ 万と波 ⑯ よらふ 万と波

手よ

初

○よばひ 古用波 結婚 ○よほろ 丈和近江 丁野を

と保乃 丁 ○よをり 禁 節折 ○よを

ろ 兼清くしつをるるのりもて 志字 未考 ○よわし 字

膝を放毛 弱 ○よそへ 万与曾 壽を延ぶ 倍 ○

よそひ 古与曾 儀、装 ○よそぢ 四十 ちこ

つり ○よひま 丈 須の 婿の ○よし 兼用さ の音

く ○よまぢ 万与奇 除道の 義く ○よみぢ 源

黄泉をとり 圃道の義く

よろほひ

○よろほひ 兼 保比とえ 透迤 ○よろこのひ

精 正下部の ○よづ 吟を延

ほひ 弘豆石系 与曾保比 粧 ○よそほ 兼儀又務の 活解く

○よひのぬ 源 湖月抄よあつぬがぬ といえとえ不世着の義く ○よらなる

丈 紙を延 ○よらさ 儀与字 左利 夜 ○よらば

多 容貌の ○よらふ 和与右 布江 横笛 ○よ

ひが 徒 呻吟を禁よひの 義く ○よらふ 源 透せ

よ

○よろろほひ 伊 紀喜又悦を列す 悦の延とく ○よろひが

○ たのな 万馬 手綱 ⑩ たな 支手綱の

○ たれを 支手綱統の ③ たらひ 万足目

○ たらひ お多良比 ④ た 手洗の

○ 丹比 ⑤ た 土佐日記

○ 専 ⑥ だ 僅古字 給 ○

たづげ 山の麓をいなり葉又枅形にたけとえふの似字といふく手向の字といふもあらしきものれともむ

○ た 平泉

○ た 平泉

○ た 平泉

踏哥の ⑦ たぐひ 著類、比

① たまひ たまひん たまふ 万多 万賜、給

たまひ 和倍土お久又古万比 ④ たけふ 和多分布

② たま 字古不 ⑤ た 武彦

ば 兼塔婆の ○ たふ 万答志 ⑥ た

高家 ⑦ たひら 紀多昆

平

① たいま 盛焼松 ○ たいら 多

① たいま 盛焼松 ○ たいら 多

ハ **たはふれ** 字多波 戯 ○ **たはしき** 字

波志 **妖** 紀靡々を ○ **たはあや** 万多波 作宅

浪言 ○ **たはしれ** 字多波 志礼 作劇 ○ **た**

はれを 万風流士を引 ○ **たはれめ** 多 日し

○ **たはまき** 多 戯業の 略 作 ○ **たほえん** 清

たはめく 一 ○ **たは乃ほ** 万耕穂 白きを

ト **たふふ** 万多き 多 たふふ ○ **たふ**

一 兼壁 助辞 ○ **たづのら** 紀田税を ○

たらしふ 万 立障 ○ **たちか** 古多 加 た

之緒 ○ **たをやめ** 和 多 平 婦人 たを

○ **たをや** お仙窟 多 娜 たを ○ **たをや**

源 たを ○ **たを** 兼 多 たを ○ **た**

わらば 万手小童 解 掌 たを 多 たを

カ **たづひ** 字 多 田 加 稻、耕 ○ **た** の

うな 拾 多 加 無 音 便 多 竹 ○ **たのはら** 和 多 加

波良 た 多 加 用 之 相 ○ **た**

叔 ○ **たかひ** 古 多 々 加 戦 ○

たしび 古 今 行 復 立 短 多 之 戦 ○ **たは**

た々 傀 ○ たつる 新古 湛 ○ たぶよ

たふん たふん 古多院用 散流 漂 ○ たつる 万推

川つ流ハ助辭トシテ 手流の事トモナリ ○ たつる 万手 万手作の 久利 手

○ たつる 乃木 女貞 ○ たつる 紀院

比歌 田令 ○ たつる 紀多那 須衛 手端 ○ た

らば 万豆 梶 足と 史ナリ ○ たつる 源 花を依 情と戯

○ たつる 著 盜賊の 久音ク ○ たつる

るい 多 黨類の 喜ク ○ たつる 道人の 喜ク ○

たつる 兼 嵩多の 喜ク ○ たつる 新古 乃 古比

手巾 ○ たつる 馬多ク ○ たつる

たつる 万 栲 繩 手 線 繩 の 略 注 ○ たつる 万 栲 繩

万多之 貯 万多之 紀多 衢 手 杖

考之 世ハ 布トモナリ ○ たつる 紀多 衢 手 杖

○ たつる 古今 繩の 結 万之 氣の 結トナリ ○ たつる

今 福 ○ たつる 万 珠 名 玉 繩 者 玉 八 頁 袖 ○ た

まじき 万多 麻 玉 章 ○ たつる 万多 麻 之 比 魂 ○

志草ク 蕙 苧 ○ たつる 万多 麻 之 比 魂 ○

たつる い 万 伊 奈 玉 名 ○ たつる 七

手

七

右解を河の 杖のたけのきこたけの 藤のたけのきこたけの 長そり目のたけのきこたけの

① たふとく 古多布 刀久 貴 ○

たふとく 字たふ 法支 禪 ② たゆとく たゆとく けん

たゆとく 万縁ま 猶豫 ③ ためらふ ためらふ せん

ためらひ 万縁ま ④ たべらふ 宜立退の 略酒の

⑤ たびひき 又たびひき 万縁ま

⑥ たはやすく 兼寄ふ ⑦ たちふり 万縁ま

和布知布 映的 ⑧ たかなる 万縁ま 楯の

五

⑨ たかなる 万縁ま 楯の

⑩ たかなる 万縁ま 楯の

⑪ たかなる 万縁ま 楯の

⑫ たかなる 万縁ま 楯の

⑬ たかなる 万縁ま 楯の

⑭ たかなる 万縁ま 楯の

⑮ たかなる 万縁ま 楯の

⑯ たかなる 万縁ま 楯の

⑰ たかなる 万縁ま 楯の

⑱ たかなる 万縁ま 楯の

⑲ たかなる 万縁ま 楯の

⑦ たふさやう 丈 納 繰 の
⑧ たふさやう

万手寸十 解之手 繰値と云ふ 非之たふさの古依日死たふさ
急相 く船の先をよみしそとてよのふたけりし
ふたけりしそとてよのふたけりし
のこたふさ
⑨ たふさやう 万手寸 繰
保留

六

① たい志やう 兼 大骨合の
② たふさやう

かみ 及 薑を
河も
③ たふさやう 保留
④ たふさやう 保留

繰細 ⑤ たのれあしを 字 ちか乃
⑥ たのれあしを 字 ちか乃

たのれあしを 古今 柳撥女
はく 柳撥女

七

⑦ たふさやう 和 多 知 波 赤
乃 加 波 橘 皮 ⑧ た

かくなのれ 左 枝 の 理 髪 と 再 び 見
たのれあしをよみしそとてよのふたけりし

⑨ たふさやう 万 棚 無 小 和 柚 を 不 奈 々 那 大 船 旁 板
小 船 たのれあしをよみしそとてよのふたけりし

⑩ たふさやう 和 玉 乃 加 乃
冕

八

① たふさやう 兼 右 政 大 臣
の 漢 例

九

② たのむなめしはのけ 和 笋 乃 字
波 加 波 釋

禮部

中

れの部 禮例 辰黎連縣情

二云

○ れう 源獲科の

三云

○ れうぢ 多療治の

四云

○ れいせい 右冷泉の

五云

○ れうれうま 平泉 憲馬 ○ れうしお

それ部

二云

史補所

○ れうれうま 平泉 憲馬 ○ れうしお

二云

○ れうは 源 祖 繁、背端の

○ れうは 源 祖 繁、背端の

○ れうは 源 祖 繁、背端の

○ れうは 源 祖 繁、背端の

○ れうは 源 祖 繁、背端の

手

十

中

① そらむじ 多請を例 ② そらべ 多宗廟

の音 ③ そらいひ 江續飯とんそらひとそら略

かふ ④ そらなひ 字曾己たふ 波苗 ⑤ そらひ

まめ 和名比 未女 鷓 ⑥ そらふ 源侍寢之 於仙窟

横陳を例 よめり

ふ

⑦ そはくし 源禁之祖々敷 の義とそり ⑧ そなへ 多

饅を河内信 饅の義と ⑨ そらかそふ 万天敷 考之実量 たりとん

⑩ そらそやう 采崇敬の 音と ⑪ そひく

地榆 字そ比久 々た

六

⑫ そほくでんさ 多天齋を ⑬ そとほり

ひ免 記 衣通姫 ⑭ そでぎらやう 清袖

ル帳て神をそと 面をねほり

法の部 都通追免英 闘屠 頭

二

⑮ 法い 兼 射を ⑯ 法は 字豆波 志苗 噙

手

法は 出雲風土記 石路 ④ 法 又選、此州

② 法 平泉十字の略、法和十字者東西南北相

未詳 と見 ○ 法 禁厨子 ⑤ 法 万夏惠 杖

⑥ 法 和夏比 甲 羸

三毛

① 法 杖、續連、これの約てこと、 ○ 法 いぢ

築土の 略、法 ○ 法 いさ 和夏伊伎 筑城 ⑧ 法 は

あ 字夏波利の支 膝 ⑨ 法 が ⑩ 法 が

万 お 行 集 ⑪ 法 か ⑫ 法 か ⑬ 仕 ○ 法

か ひ ⑭ 法 が 使 遣 ○ 法 が ⑮ 法 が

告 を 延 ○ 法 が 万 お 賀 延 ⑯ 法 の

万 お 可 解 は ⑰ 法 が ⑱ 法 が 審

延 合 の 義 ○ 法 が は 和 お 賀 都 賀 ⑳ 法

た ひ ⑲ 法 が 万 お 夏 多 傳 ⑳ 法 が

古 お 夏 鼓 ○ 法 が ら 万 お 夏 々 葛 ㉑ 法 が

⑳ 法 が 貴 紀 夏 々 續 ○ 法 が 家

福 綴 ○ 法 が け 和 夏 々 介 淋

⑳ 法 が ⑳ 法 が 躑 躅 ○ 法

を 文筒尾より筒 ① 洗む 和加久 廻毛、
底をいさるや

旋毛 ② 洗く 和加久 机 ③ 洗ふ あり

和加布 ④ 洗ひ 字、癒 寄
里 鷓子 ⑤ 洗ひ 今 癒 字、癒 寄
肉と見え

⑥ 洗ひ 字、穢 和比 費 ⑦ 洗ひ 史、築 土
の暇

⑧ 洗ひ 古加毘 遂、終

に云

① 洗い 月立の茶く ② 洗い 一字

③ 洗い 和加久 波 ④ 洗い 啄 ⑤ 洗い 正衝
立

⑥ 洗い 伊 續 和い ⑦ 洗い 波 ⑧ 洗い 正衝
立

① 洗い 和加伊 築 墻 ② 洗

③ 洗い 和加波 ④ 洗い 和加久 須

⑤ 洗い 魚腹下 ⑥ 洗い 土の尻の ⑦ 洗

⑧ 洗い 字、利 ⑨ 洗い 和加久 万

⑩ 洗い 古加播 ⑪ 洗い 古加 朱 芥 芥の
葉と見え

⑫ 洗い 万加 ⑬ 洗い 史、字

⑭ 洗い 古加 頰 枝の ⑮ 洗い 史、字

⑯ 洗い 字、久 ⑰ 洗い 史、字

⑱ 洗い 史、字 ⑲ 洗い 史、字

手

十四

中

ちまごひ 万孺同向のよ
○ ちまひり 和夏万
二をとおせり

牛痛 蹄躡 ○ ちまひり 字夏万
夏久 躡

⑦ ちまひり 和夏布
之 躡 ⑧ ちまひり 和夏
紀後を 罪しなふらうらふ
まひなふらうらうらふ

⑨ ちまひり 和夏布
之 躡 ⑩ ちまひり 和夏
紀後を 罪しなふらうらふ
まひなふらうらうらふ

ひ 字夏支 楯
依比

五

① ちまひり 和夏布
之 躡 ② ちまひり 和夏
紀後を 罪しなふらうらふ
まひなふらうらうらふ

阿井 木藍 ③ ちまひり 和夏
紀後を 罪しなふらうらふ
まひなふらうらうらふ

懶墓 ○ ちまひり 和夏
紀後を 罪しなふらうらふ
まひなふらうらうらふ

洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

④ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

⑤ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

⑥ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

⑦ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

⑧ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

⑨ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

⑩ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

⑪ 洗ぬきさし 万如奴婆播符考
枕 洗ぬハ羅くともん

手

中

六云

① 洗いひぢり

和豆伊比 知伊也

諭

②

洗はりの

ら 和豆波毛 乃之良

庫

③

洗いみかばら

和加波良 乃之良

疏

尾

④ 洗いのひぢり

和豆久乃 比々刀

容作兎

⑤

洗ふらば

源摺るを也 いる力

七云

○ 洗くみのいひれ

和豆久乃 伊比祢

白英

祢の部 禰年尼泥塗佞涅

○ 祢ひ

祢比 祢中

婦 負

⑥ 祢ぢけ

源祢ぢけ人を 見合はし

⑦ 祢かひ

祢かひ人 祢かひ

⑧ 万祢可

比

⑨ 祢らひ

祢らひ人 祢らひ 万祢 祢らひ

比 粗

紀之練を 祢河所也 比 比

⑩ 祢

源 祢之年之 正五九月云齋

日をか 手ぬ

⑪

祢ぢみ

和祢頭 英

篇

手ぬ

④ 福くまの 大姑を延より
すまの約む

⑤ 福あけせ 後拾 根鬨
の影をいへえ通ひくおひえ
お印えつたの三三おあめ

⑥ 福さくら ねむらえんおまらひ 記慰方を
おまらえん

⑦ 福さくら 又云

⑧ 福ぢげびや 万倭人を河より材に捨られ人
つらね捨る人の義賊了

⑨ 福ぢげびや 万倭人を河より材に捨られ人
つらね捨る人の義賊了

⑩ 福ぢげびや 又云

⑪ 福ぢげびや 又云

⑫ 福ぢげびや 又云

な部

二云

○ 福ぢげびやのき 和 福須美毛 棟

な の 約 奈 南 難 難 那 乃

二云

⑬ なが 和 奈波 繩 ⑭ なが 和 綿 直

○ ながほ 万奈保 ⑮ ながへ 万奈倍 苗 ○

なへ 和 蹇を阿之 奈雨とえ ⑯ ながへ 万寢を延 ⑰ ながべ

⑱ ながい 和 撫河を 奈初加波とえ 撫 ⑳ ながる

⑳ ながる 和 奈初加波とえ 撫 ㉑ ながる

手 な

十七

なぐるま 中 索 (エ) なぐえ なぐえ

三三三

ハ なげて 和奈八天 田間通く 暇 ○ なげへ 丈繩取の 略況く

○ なげの 多 羨昆布を 河す (ニ) なるけ 古那逆 波 難

波 (ホ) なほし 源 虫衣を河り 和 襦袢と奈保之能古呂 毛と見今なほしとのいふ六巻河の略りたる

○ なほり 和奈保里 豊後 出入 (一) なへぐ 和

塞 (サ) なをり 盛 気折の 義く (カ) なのぢ な

○ なのえ 和奈加衣 車ノ具 轆 (ツ) なのぢむ 古

なごへ 古今万々名種 経 准 なごへの 略況く (ツ) なのぢむ 古

那 煩 ○ なのぢく 万名付 号 ○ なのぢる

古今撫き二ま おせり ○ なのぢき 和奈夏 波 腦 ○ なの

河乳 和奈夏 奈 齋 (ラ) なのら なうげんならひの源習 ながくるま

河内成合の義 くあひの約らく ○ なのらひ 和奈言比 渡波 成相 (ム)

かむぢぢ 紀大元年 夏 大女と見 汝 (一) ながま 和奈万 夏

鯨 ○ ながま 和奈万 為 澤瀉 西 和奈俗 田鳥子と云 是をさくまをいふ

河内 和奈島子と下れ鳥芋のこがれはふの字ゆもそのもたのひし 得れよの佐わちのあはる万とわあひのさるかなししとて合ふ鳥芋と 沃瀉の煮てさるものあれと和奈の さらるこれとあはるものやいさし

(テ) ながま 清 何と云 又かんふ

手

字系是 中 詰問 ○ なまじむ 馴深の義
とらり

中

に云

① なみのま 万藤様を ② なはしち 万奈波
之尾 苗

代 ○ なは乃あり 万繩法 繩墨のまこと
いなり

③ なはせし 和奈波 世身

④ なほらひ 之世相 世舎

⑤ なほらひ 等用を 葉之奈波の注之尋常とらん
とらり 世舎

⑥ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑦ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑧ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑨ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑩ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑪ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑫ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑬ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑭ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑮ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑯ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

⑰ なほらひ 河の注之尋常とらん 世舎

手

十九

字奈須衣布
なひくとも
准

五云

五云

① ないごしる 葎 葎、無ウ
代えとえ ② たましね

後撰 急を頂て
しハ助様 ③ かのげのふ 和奈加豆
加豆 豹

○ かのころふ 万流経 寝衣の長
とかけり ④ かのりさ

ふ 和奈おのりさの
地 ⑤ かのりさ 和奈麻豆
波

歴る ○ かのまえ乃さ 和奈末衣
乃ま ⑥ かの 和奈

免ねれ 字奈女奴
波 ⑦ かのびか 万麻
相

之 麻合の 今志 ○ かのひらけ 字奈比衣 癖

六云

六云

① ないけさ 多内教坊 正
女奈をそのふとえ ② かな

けじか 和奈流波
之加豆 蜀椒

七云

七云

① ないさ 宝唱 鶏鬪
いさ通 ② かのほ

乃 和奈保之乃
左尾毛 襦袢

八云

八云

○ かの 和奈加乃
止毛比 中辨

十一云

十一云

手
ら

中

むのきん君を
弓此のいんを
志字
未考
○むのし
今やく年
時むのし

良自見
自の愛といひ
志字
未考
○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

むえふ
むえふ
○むやひ
字年久伊
むくゆるも
報
むえ
ひ又

手

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

○むらじ
紀連を河の姓氏
録は又志年

手

二云

中

和無豆放 駢拇 (ク) 和年久分 以奴 穠 (キ) 和年久分 須紀

和年久分 以奴 穠 (キ) 和年久分 須紀

和無豆放 駢拇 (ク) 和年久分 以奴 穠 (キ) 和年久分 須紀

和年久分 以奴 穠 (キ) 和年久分 須紀

乃知于字行身鳥有雲馬羽

二云

古字用 上 (〇) 和字倍 筌

和氏始を 氏 (〇) 和字倍 山城 字

古字表 魚 (ツ) 万字頭

紀于圖 珍 (ウ) 字

伊比尔字々 飢、饑 (一) 紀字 磨 馬

和字女 梅 (ニ) 字字自 精

古字 殖 (ヒ) 万字比

和字須 宜 (〇) 古

着冠者 鬢 華

三云

万字波 上方 (〇) 和字波 手

手

二十三

後丈 ○ うはま 万表荷 上荷 ○ うは

多 襷を河り表 裳の義之 ○ うはさき 年 啼 葉表 様の

多 奪 ○ うばら 和茨城を字 波良波と云 新、淡

○ うはぐ 和字波土 表門 十 うちは和

波 知 團扇 ① うりふ 史 仇生の ② う

るひ 拾個の略 ③ うかひ 古字か 鶺鴒 ④

うたひ うんうふ古字ま 歌、謡 ○ うん

和、刑罰を字多倍 所 うんま ① うん

知 ち 税 ⑤ うれひ 三憂礼比 憂 ⑥ う

川 急 公 兩杖杖ハ ⑦ うづみ 史 埋 ⑧

うづみ 多 膿を河り膿 ⑨ うづち 史 海津路て ⑩

辞 ① うづら 江 竹 柵を和 ② うづほ 和

年 天河を本乃字 空 ○ うづる 史 蹟を ③

保乃 矢 更と云 ④ うなる 和 字 奈

うづら 字 字 更 ⑤ うなじ 和 字 奈

髻 髻 俗用 垂 髻 二字 謂 之 ⑥ うなじ 和 字 奈

頂 ⑦ うむじ 葉 倦を 活 ⑧ うがひ

夫 眞 本 重 風 出 記 伊 具 此 の 為 具 是 記 ⑨

かよ 全 中 い 久 び の 之 云 本 せ 中 手 ⑩

まゝ 紀于麻 可美 ○ うまるる 源 産生

○ うまや 万字万 厩 ④ うけひ 古字 免

比 誓、祈 ⑤ うしほ 紀于之 襖 潮 ⑥

うゑめ 夫強女く田 子そそり ⑦ うけひ 和字須比 上野

碓氷 比云

○ うはぢ 保表指 ⑧ うはし 貴和

盛夫くさ ⑨ うはかひ 字字波加比 夜、前 社

○ うはなみ 又上浪の ⑩ うはたのり 和字 波

四云

京 後妻 ① うへうら 万字用 表裏 ○

うべなひ うなげんうなみ 説 紀自服を ② う

ちのへ 万内重肉方 ③ うちは 菅打蠟打

の義 ○ うちはえ 又打映く振映 ④ うりふ

乃 和字利布乃 日向 臥生野 ○ うりは 和字利 波用

守 ⑤ うるほひ 字字苗 潤 ○ うるほ

ひ うるほえんうるほふ ⑥ うるはし 古

字流 美 ○ うるひ 和字苗比豆 ⑦ 濕津

波新 ⑧ うかふ ⑨ うかへる 古字加々波之 ⑩ 窺、伺

手

夕 うさかひ うさかひ 疑 ④ うはるひ

ろば ろば 万字お核 ろば ⑤ うひみび 接核

埋火 埋火 ⑥ うひゆ 枕 万虚本綿 うひ ⑦

うひま うひま ⑧ うひた 万打妙

枘 枘 ⑨ うひ 字 殿 ⑩ うひ

なひ なひ ⑪ うひむ 和 室

良室の 良室の ⑫ うひ 和 埋 ⑬

糸 糸 ⑭ うひ 和 竹

頂着の 頂着の ⑮ うら 右 相

① うら 更 ② うかひ 万

鷲 鷲 ③ うま 和 敬

④ うま 和 馬 ⑤ うま 和 紀

蓄息 蓄息 ⑥ うま 和 馬 杷

⑦ うけ 和 肯 和 合

⑧ うさ 古 ⑨ うさ 古 失

⑩ うさ 古 ⑪ うさ 古 失

⑫ うさ 古 ⑬ うさ 古 失

良 良 ⑭ うさ 古 ⑮ うさ 古 失

又云

ハ へはたき 催梁塵尾案抄 ○ へはたきひ 字波右万利 酒賣女と云え

字字波 字比 編 ○ へは乃きら 金 之の字と云ふ

① へへのきね 和字倭乃 波奴 袍 ④ へちあは

せ 和字新阿 波世 腿股 ② へる 紀潤月を 河

③ へかぬらひ 万字かほ良比 粗糸の之と云ふ 寝祖 ⑤ へ

たあはせ 采歌合と云ふ かのとと云ふ ⑦ へが乃き 万字 頭

乃御 字頭及稱 ○ へが乃き 多堆を 河

⑧ へり 字頭ハとの 嚴

⑨ へ 和字瓦器を須美字 波毛乃と云ふ 器 ○ へが乃き 蹲

河 杖古今須受麻里と云ふ 強字と云ふ

⑩ へ 日しと云ふ 非と云ふ 角と云ふ 麻依の

⑪ へ 又字と云ふ 乃幣帛の

⑫ へ 乃字と云ふ ねがひ ぬのき ぬのき ぬのき

⑬ へ 又字と云ふ 又字と云ふ

⑭ へ 浦佐後而の浦ハ飯

⑮ へ と云ふ 手

牛乃比 石龍芮

七云

① うまれくぼかひ 和字万乃文 係加比 紫貝 ② うび

たひ乃うま 和字比也乃 字麻 戴星馬 ③ うんれた

乃のひ 白のむ糟して穀の 神を象するといふ

八云

④ うまひ乃ほのき 和字多未比乃 夏加依 雅樂寮 ⑤

うぐひ乃いひ絲 和字比須乃 以比絲 木之 恒山

九云

⑥ うたたひほのち 和字多倍多々 須加依 刑部省

⑦ うちれかほで乃ほのき 和字加乃加之 波天乃官 門膳司

⑧ うまらひをやせふかぬ 紀于魔羅伽鳥野 飛南屢柯依 美飲

喫哉

井猪獸 箇草居 高若其類似類而大 虫出 有也

井居座處 猪 奕 瓜 文 墮 卒 訓

① ゐい 和字伊 比江 渭伊 ② ゐる 和字流 船着沙不從之 艘

わい部

手 西

おし部

中

わ乃豆知 穰 ① 乃らへ 万告を也 ② 乃ら

えん 和乃良夜 穰 ③ 乃らふ 乃らふのふひ字乃 右

布 拭 ④ 乃あへ 紀 野饗 ⑤ 乃せし 和農 世

字 陵 苜 ⑥ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ⑦ 乃いひ 万能 村

比 ⑧ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ⑨ 乃いひ 万能 村

⑩ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ⑪ 乃いひ 万能 村

⑫ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ⑬ 乃いひ 万能 村

⑭ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ⑮ 乃いひ 万能 村

⑯ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ⑰ 乃いひ 万能 村

⑱ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ⑲ 乃いひ 万能 村

⑳ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ㉑ 乃いひ 万能 村

㉒ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ㉓ 乃いひ 万能 村

㉔ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ㉕ 乃いひ 万能 村

㉖ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ㉗ 乃いひ 万能 村

㉘ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ㉙ 乃いひ 万能 村

㉚ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ㉛ 乃いひ 万能 村

㉜ 乃いびふ 和乃以須 肉刺 ㉝ 乃いひ 万能 村

手 ね

於の如 於遊意 億憶 飲隱 應 礫

二 三

○ 乃むがふん 新古 野路乃玉河

○ 乃むがふん 和乃以須 布衣 吭

○ 宣 ① 乃らへ 万告を也 ② 乃ら

以 紀 偃を 瘼 跡の 河 乃

五 三

七 三

① 於い 古游伊 老 ② 於は 和於波 祖母 杖

母の略 ③ 於尔 和於尔 佐隱音之批 鬼 ④ 於

ほ 古意富 大 ○ 於ほ 万於保 凡を ⑤ 於

万於愛 音 ○ 於 和乙訓を 於刀久尔 乙 ⑥ 於

古游知 居 ○ 於 字於比 祖又 杖大又 の略とん ○

於 字於夏 意、忙怕 ⑦ 於系 紀於瑠 織

⑧ 於れ 古意れ 已 和のれの略 紀 古今有化 ⑨ おう 和於

おま 意字 ⑩ おく 古於波 置 ○ おく 万

意文 奥 ⑪ 於や 紀於夜 親 ⑫ 於ふ 和

於不 白貝 ○ 於ふ 字於布 佩 ○ 於ふ

和於布 ⑬ 於富 ⑭ 於 紀於已 起 ○

於貴 万於波 瀧、沖、澳 ○ 於貴 万於喜

息 ○ 於 和於波 隱波 ⑮ 於 古於 辰、

使主 ⑯ 於 紀鉄斯 押 著こふのり 押 び

於を ○ 於 和意海を 於 戸考 滋 怒 ○

於 和於之 扇琴 ⑰ 於び 万於比 負 ○

於び 和於比 帯 ○ 於ひ 和於ん 於ふ 万於比

遊 ○ 於ひ 万於比 生 ⑰ 於 紀於母 母

○ ねり 万能毛面

三三

三三

① ねりて

于又於を河の
置而の

② ねりけ

紀失竟を河の
置而の

○ ねり

和御鞍を之良
於呂須

○ ねり下

○ ねり

万下風を河の

○ ねり

万能呂可愚

① ねり

和於八本
万能芽子

○ ねり

今よめを
又よめを

② ねり

① ねり

和於人及牛馬死者
血所化也 鬼火也

○ ねり

和於河の

和於保

係系取

○ ねり

和於保知
又又

○ ねり

万能保

ねり

和於保
官名

○ ねり

大炊

○ ねり

多 ○ ねり

おほい
おほく

○ ねり

覆

ねり

榮之
榮之

○ ねり

和於保和
車

輜

○ ねり

和於保
鷹

○ ねり

和於保
記

係

大御

今御をの
おひ

○ ねり

字於布
万能保世

債

命 ○ ねり

右於富
大根

○ ねり

和於保
草

和於保

○ ねり

和於保比
聖

○ ねり

和於保

○ ねり

後拾
常勝勝

和於保

○ ねり

和於保
大根

○ ねり

和於保
佐前

○ ねり

万能保
日

手

三十四

今イハレ見ミ才ヒと ○ ねとと ○ 林ハヤシ之ノ後ノ大オホ殿ノの ○

ねとれ ○ 兼ツグ大オホ人ヒト名ナの ○ ねとら ○ 仁ニ足タラシるカ ○ 方カタ ○

ねとけ 源ヒコ 威イ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとん 年トシ警ツるカの ○

威イも ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとり 大オホ下シタ居ルの ○ ねと

通スり ○ ねとろ 大オホ下シタ居ルの ○ ねと ○ ねと

ねと倍ツ 織オリ ○ ねとろ 古コ於コ加カ ○ ねと ○ ねと

一 万置マン之ノ置キの ○ ねとろ 古コ於コ加カ ○ ねと ○ ねと

よとろ 万大マン九ク ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

よとろ ねとろ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

○ およ ○ 万マン於コ余ヨ斯シ 林ハヤシ之ノ後ノ大オホ殿ノの ○

ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

万押日 ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

ねとろ 字ナリ於コ ○ ねとろ 字ナリ於コ ○ ねと ○ ねと

字於曾 恐、懼 ⑩ 於かろ 万於奈自 同

⑤ 於らび 万於良 叫 ⑥ 於むぞ 伊御衣の

① 於るれ 万於能 已 古今自免と云 ⑦ 於くこの 万奥

かろる在の ⑧ 於くる 万於久 送、強 ○ 於

くして 和於久 晚福 ○ 於くれ 万於久れ 後

② 於まの 采御座の ⑦ 於ある 万於布 生

○ 於ふや 紀首を河の ⑧ 於ふん 和於布須 難氣

拍浮 ○ 於ふ 字於不之 痛啞 ○ 於ふ

まかこ皇の於ふしあしうんおひあさ 志字 未考 ○ 於ふみ 和於

石見 邑員 ③ 於あせ 万於已勢 遣 ○ 於

① 於さへ 万於佐 起、興、發 ○ 於あふ 奥奈の

④ 於さへ 万於佐 押 押支の ⑧ 於さの 和於佐

大和 恐飯 ④ 於さな 和於支 翁 ○ 於さて 采

校 材、行定 ⑤ 於さろ 万於養 仲さろハ

① 於さろ 万於佐 仲さろハ助辞と云ふ ⑧ 於さて

万於伎 除 ○ 於さひ 字於支 熾 ○ 於さ

① 和於伎 駿河 息津 ② 於えん 保 面輝の

この約 めく ② 於 福 支 遲福の約 ⑧ 於

て 禁 璽を引く
押手はさへ
⑦ ねびえ 字於比 愕然

⑧ ねとて 紀於謀提
万於毛 面、表 ○ ねとて

和權衡を波加
利乃於毛之
重 ○ ねと乃 御饗の略強く又を毛
の、食物の略強く又を毛

○ ねとや 兼御洋く兼く
源女子をさへん ○ ねとひ

おもそんおもふ古於母 思 ○ ねとかな 源面無の
おもひまひ

○ ねとゆ 保御饗の 正に兼強はさしおもひ
とさよめておもひまひ八者

○ ねとや 兼
おもひまひ

⑨ ねとせふ 紀 兼身を引く源、ねとせふと
兼く

⑩ ねとす、 浩於須 強女 ○ ねとすひ 古

意須 万押日とさし
此 兼夜の兼く

下云

⑪ ねいかけ 和於伊加計 兼繁く 倭 ○ ねいらく 古今

先余の 兼く ○ ねいらの 源 兼く先らり
の兼くとさへ ○ ね

いぞけ 源兼く先殺の 兼くとさへ ○ ねいたふ 和於伊
兼く

お羽 置湯 ⑫ ねろそめ 字於居 兼加 踈

⑬ ねばしま 字於波 兼万 檻 ○ ねばせふ 字於
波

流勢 佩 ○ ねばらふ 和於波良波 兼三 邑樂

⑭ ねほろく 字於保 兼万 太虚 ○ ねほゆ

手

ひ おこし 紀於虚行 ○ 紀於たあり 徒 起

○ 紀於乃あり 和於朝葉 海葉

○ 紀於の 和於倍

伊勢 刑部 ○ 紀於乃あり 字於支 乃利 餘 ○ 紀

美ねひ 字於也 奴比 綴 今おのちのひと又補のそと 用ゆ心をもさあひゆるハ非 ○ 紀

○ 紀 字於柔 虫脚

○ 紀 万慈照 延波 ○ 紀 古今押並の

○ 紀 和於之 久依 ○ 紀 和於之 大和 忍海

○ 紀 字於比 也須 憎 ○ 紀 和於比 刀利

○ 紀 後撰 遊風の ○ 紀

○ 紀 和於比 加波 鞅 ○ 紀 史思 和の 略

○ 紀 万於母 保由 所思 ○ 紀 和於 毛

○ 紀 後撰 万於 毛 面影

○ 紀 紀 傍又阿を 何す 榮 面練の 阿容 ○

○ 紀 加比と字の 在る 毛の 何す ○ 紀 和於 毛

○ 紀 和於 毛

○ 紀 和於 毛

○ 紀 和於 毛

○ 紀 和於 毛

手

四十一

延々くけの
約ふく
○ 杉もむく 源 趣 面向の
まく

○ 杉もだの 澤 瀉 面高の義
とらり
⑦ 杉せ
くく 今 押 屈のま

又三

① 杉い乃わのく 老浪老人の皺を
浪のうらなとさき
○ 杉いすか 源

先を延えり
かしの約く
④ 杉ろあおひ 和於路か於此
福後す
穠

⑧ 杉はしもの 紀御座を
河
③ 杉よわらひ 和

於尔和良非
章く
貫衆 ○ 杉よやらひ 地脊 ○
遊難と河
やふハヤの之

杉よふらへ 多 馬蘭 ○ 杉よやらひ
遊難と河
やふハヤの之

まこ
せり
⑥ 杉ほたのら 和於保を
加良 人民 ○ 杉ほ

く
字於保於保
地
曾祖 ○ 杉ほおのび 和於
保

於る比
梅 ○ 杉ほぢから 多 租を河す大
税のま

ほかから 凡河内九大
○ 杉ほけかろく 千葉大
名無の

まかりハあけけまけいけけなぐニほし申大膽からあのこと一或ハ
森を河り一洗の負名無とてカと地ぬまき河よりあつる流かろし
とらりす
○ 杉ほし 万生有を
河す ○ 杉ほさ

和於保を
字
溟渤 ○ 杉ほねむ 和於保祿
母

○ 杉ほどれる 万葛英尔於保
登礼流原葛
○ 杉ほみくさ 丈

万於保を
久佐
完 ○ 杉ほくそま 和於保々々
章く
虎

手

掌 ○ 杉ほろばら 和於保令 菘莢 ○ 杉

ほやがら 注芝類 赤箭 ○ 杉ほろばら 和於保令

接付 大羅ト 杉 令墜の ○ 杉むす

め 於止年 才女 才某姫 ○ およひぬき 和於比 猪

ツ 杉 古於る 良比 ○ おとなるる

究 所 遅 注 ○ おと 和於る 驚馬 ○ 杉む

や 兼陰陽師の ○ 杉乃 和於る 材已隨

○ 杉乃の 万各寺 解 自 ○ 杉 今 の

く 万奥香 解 行末ふ ○ 杉 今 の

史 史ま の ○ 杉 平系 遊物射 ○ 杉

一 あ 和於布之安万 凡海 ○ 杉 和

於古之 粗 救 住以室和系 ○ 杉 今 の

古系 粗 救 剪作之 ○ 杉 今 の

○ 杉 万於彼奈 翁人の ○ 杉 万 の

か 和於ま 白頭公 ○ 杉 字於女

通草 ○ 杉 和於之 凡 ○ 杉

考 万返及 ○ 杉 史夥 大満 の

○ 杉 和於比之波利 膝 ○ 杉 腰虚肉

和於比不
久呂
勝 ○ 和ひはのふ 源生次を
延きす

志ろき
樓松
万於女之
柯怜、慈 遊仙窟風流
をいし河す ○ 和も

かほり 後拾 面愛の
多く ○ 和もよわし 字於毛呂
和之

膝 ○ 和もわろし 令面馴の
多く ○ 和もほ

下る 字於毛係
互苗 喟然 紀、愠色又忿然又
作色を河す ○ 和も

多んども 和於須賣
皮里 護田島

六云

六云

① 和いさつらつる 源老癡の
多く ② 和よれやがら 字於
余

乃也加良
草く 續斷 ③ 和ぼりのかし 万於保朱
無

鬱悒 ○ 和ほむたのら 紀 百姓又黎庶
おほむ
か今御

のふ字を用ゆれと云ふハ大御とておほむと
おほむと云ふ縁のこもおほんとおほむと云ふ
○ 和ほふ

あか 和於保英
河加之 燈明 ○ 和原もよものき 多
櫛と
河す

○ 和ほむらふかめ 字於保地有久利
障脚のふく 標蝟 ○ 和

ほふるをけし 和於保英流
久佐 葺簾子 ④ 和あべた

かき 和於里倍夏加佐
官名 織部司 ⑤ 和ほろれおん

万延言記、妖言又
妖偽を河す ⑥ 和もも乃いふ 和於毛乃
以苗 馳射

○ 和むなかひら 和於守原加良
草く 芎藭 ⑦ 和

乃出ろく 古能基
長傳 礮馭盧島 ⑧ 和も

どろいろう 大御座所 伊高字本ニ 〇 杉ふな 備分を河守

〇 杉多門ふのえ 万杉松津 瀨津深江 〇 杉 布加延 川の助

さかすのば 万旅吉奈我々波 息長河 〇 杉 を江いとも

いでれふ 記符 〇 杉あけ 支 押

方 押し 〇 杉 和杉毛波々之曾 黠 面星

〇 杉もく 兼 重々敷

七三

〇 杉原 和杉係伊知 族又 〇 杉原 和杉係伊知

お乃 和杉係乃 大炊寮 〇 杉原 和杉係乃

〇 杉原 和杉係乃 延 和杉係乃 大

殿祭 〇 杉原 和杉係乃 〇 杉 和杉係乃

り 和杉係乃 〇 杉原 和杉係乃

〇 杉原 和杉係乃

〇 杉原 和杉係乃 大 和杉係乃

〇 杉原 和杉係乃 大 和杉係乃

〇 杉原 和杉係乃 参 和杉係乃

〇 杉原 和杉係乃 侍 和杉係乃

十云

○ 於ほさむむたらは流のそ 和於保彼等也 如乃目 正親司

○ 於ほかへはで乃流のそ 和於保加之波大 乃豆加依 大膳職

○ 於ほやびとめららむ 和於毛力比力系 字如彼矣 侍後高

十一云 十二云 十三云

○ 於ほいものまら流かき 和於保伊毛乃乃 字須豆加依 大納言

○ 於ほま流りごの於ほま門 和於保万豆利古乃乃 於保万豆彼矣

左政大臣 ○ 於ほい乃らおのか文門 和

於保伊旨豆乃久良井乃 加豆豆之者小 正四位上

くの部

くれ部 久政九博句約若甚空宮矩俱區衛孔兵部 具是富陽邊求郡盧供撰

二云

① くい 万久伊 字ゆるも 悔 ② くら 和久波 字ん 獄 ○

くら 和久波 木 桑 ○ くら 字 是若の精れるて 字桑流

③ くら 和 食屑を古加孫乃 須利之如と見 屑 ④ くら 字 石崩を伊波 久殿

崩 ⑤ くら 多 園を列り梅のそを申よりあくる なるん南朝紀傳正長年中、象又康富元

永享年中、石清水社、御龜のよ 是くくらの酒より始りけり ⑥ くら 紀俱職 就

中

古_ノ 齧_ヲ 河_ノ 今_ノ ㊦ くひ 古_ノ 比 杙 ○ くひ

和_ノ 比 ㊧ くび 古_ノ 國 栖_ノ ○ く

比_ノ 和_ノ 須_ノ 葛

三三

ハ ㊨ くは ○ くは ○ くは ○ くは

古_ノ 波_ノ 志 細 古_ノ 委_ノ 積_ノ ○ くは 古 具_ノ 波 婿 吃_ノ 合_ノ

万_ノ ○ くは 万 桑_ノ 子 ○ くは ○ くは ○ くは

今_ノ 喰_ノ の ○ くは 字 之_ノ 波_ノ 奈 海 羊_ノ 藿 ○ く

は 和 久_ノ 波_ノ 倍 ○ くは 古 久_ノ 治_ノ 良 ○ く 鯨

ル ○ く ○ く ○ く ○ く ○ く ○ く

和_ノ 久_ノ 留_ノ 倍 河 覆 ○ く 和 久_ノ 和 鳥 芋

㊩ ○ く 和 久_ノ 和 ○ く 字 之_ノ 良 崩

㊪ ○ く 和 久_ノ 良 ○ く 字 之_ノ 良 ○ く 字 之_ノ 良

㊫ ○ く 字 之_ノ 良 ○ く 和 久_ノ 之_ノ 比 鶴

㊬ ○ く 采 佐_ノ 養_ノ の ○ く 紀 粗_ノ 磨 ○ く

限 ○ く 万 限_ノ 回_ノ ○ く 和 久_ノ 之_ノ 比

利_ノ 解_ノ 結_ノ 者_ノ ○ く 字 之_ノ 自_ノ 久 ○ く 折 曲_ノ ○ く

し 和 久_ノ 之_ノ ○ く 字 之_ノ 比 ○ く

手

○ くひぢぢ 和久比知 取獸械 踪 ○ くひな 和久比

鳥 轟鳥 漢語抄云 水鷄 ○ くびぬ 字久比井 此

⑦ くもぬ 万雲居 雲

に云

⑩ くろたひ 和久比 古比 虎魚 ○ くろけの 伊

星塚 陸奥 ○ くろばう 菜馬方々 薑物の名 ⑩ くは は

ゆき 和久波由波 牛馬體 鳥頭 ○ くはたけ 保企と 史河

秋起の系より 知るな ○ くはまゆ 和久波万 田 蝶 ○ く

けふ 古今加 ○ くはは 多桑板と 史河

④ くちなは 和久知系波 史 蛇 ○ くちを ち

朽情の 系 ④ くるほし 古本波改流 本新 ○ くるは

し ちね敷の 系 ○ くるへき 和久流用根 蕨系 反轉

○ くるへき 和久留倍々 安藝 洲寛 ④ くれなる 万

久れ系考 鳥藍 紅 ④ くるを 續古今 類 崩折の ○

くはほれ 万久屋係 崩惚の 系 ○ くるわら 字久

和良 屣 ④ くらぶ 紀座下と 河 ○ くら

か 佐藏人の 河例 ④ くらま 字久乃乃伊 かのけ 人參

○ くら乃 熊膽 ④ くらさ 保草摺 古

の文所 ○ くさはひ 源 孟津抄二種 のこころと見 中 くさ

やく 著 公卿の 河例く ③ くされを 非未音 組緒

④ くびげな 和久比給宗 犬名く 大柳 ⑤ くもれを

後拾部園

カ

又云

① くされいが 和久利乃 以か 栗刺 ② くされが 菜

皇后の まぐ ○ くわらびん 右廣言の 音く ④ くされさえ

和久右能布衣 征我々く 小角 ○ くされひれ 菜 扇之とひれ等

くさえ 未考 ⑤ くされ乃れも 和久礼乃 於毛 懐香 ○

くされいひ 多耕や河り 縁返の事今くされいひと力とるハ 某くされハ縁練の事とる

⑥ くされが 和久曾か 度良 細子草 ⑦ く

けが 和久夏か 侯苗 ⑧ くらねひ 和久良於保 比馬々々

鞍帊 ⑨ くされが 源 某、薑の衣香 こころと見 ⑩ くま

は 和久未夏々良 葛類く 馬鞭草 ○ くまづら 字

之 之方豆 又之のあし 々良 ⑪ くまもちひ 和久依毛知比 女子草、依く

⑫ くされみ 万 草管見 考、管見ハ虫と見 従文、恙、蟲名入腹食入

心古人草居被此害故相同 無恙字てつり出とる ○ くさあはせ 和久依河 闘 波世

草 ○ くさめな 和久依為奈岐 獸く 野猪

② くるくろひく 万 刺着 刺ハ右の 手飾 ○ くるくろ

はらひ 多 構を 刺す ⑤ くるくろおほひ 和久赤於 保比也

車牛の 務袂 ⑥ くるくろは 万之須波 奇を 之岐 史之

古

⑦ くるくろざ 源 葉之 蓋竹 多 ⑧ くるくろら

く 源 曇るを 活 かし ⑨ くるくろ 波 知

七

⑩ くるくろま 字 車乃 加 ⑪ くるくろ乃

く 和久礼乃 波 自加弥 ⑫ くるくろ 和

和久更々々 保字之 虫 胃 ⑬ くるくろ 和久更々々

蛸 ⑭ くるくろ 和久更々々 排鞆肉

⑮ くるくろ 紀 傷 穢 黻 羅々 首須 就定散 くるくろ けと のしり

⑯ くるくろ 古 今 振舞の 舞々

八

⑰ くるくろ 紀 括 緒 禪 葉之 後世 指貫の 始 ⑱ くるくろ

くるくろ 和久更々々 利乃 夜未比 刺

九

⑲ くるくろ 和 車乃 知 波良比 葉泥

